

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	岩手・玉山環境組合事務事業			事業コード	1695
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	小野 哲治	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 一部事務組合負担金(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 41年度～)					
事務事業の概要	盛岡市(玉山区に限る)及び岩手町の廃棄物処理(し尿を除く。)を行っている岩手・玉山環境組合に対し、構成市町として負担金を納入するとともに、組合の事業運営について協議し、廃棄物の適正な処理を図っている。					
根拠法令等	地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、岩手・玉山環境組規則					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
岩手・玉山環境組合は、昭和41年玉山村及び岩手町のごみの処理を共同で行うため2町村で設立した一部事務組合である。平成18年1月には玉山村が盛岡市と合併したことから、引き続き盛岡市が構成団体となっているものである。組合の運営費は構成市町が応分の負担をしている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
旧焼却炉施設が残存しており、解体の見込み等について議会で質問が出ている。また、平成22年8月から盛岡市(旧盛岡地区及び旧都南地区)において、プラスチック製容器包装及び紙製容器包装の分別収集を開始したことから玉山区における実施の検討が必要となっている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
循環型社会の構築に向け、各種リサイクル法等が施行され、廃棄物行政は今後も大きく変動するものと思われ、組合においても循環型社会の構築に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。また、旧焼却炉施設が未解体のまま残っていることから、早期に解体する必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①岩手・玉山環境組合(一部事務組合) ②盛岡市玉山区の人口 ③盛岡市玉山区の事業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 岩手・玉山環境組合	単位	組合	
				B. 盛岡市玉山区の人口	単位	人	
				C. 盛岡市玉山区の事業者	単位	所	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①組合構成市として事務担当者会議等へ出席し、組合の事業等について関係町と協議した。 ②玉山区から排出される一般廃棄物を適正に処理した。 ③組合運営費の一部を負担した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事務局会議等の出席回数	単位	回	
				B. 適正に処理された一般廃棄物の総処理量	単位	t	
				C. 家庭系一般廃棄物の一人一日当たり排出量((玉山区の家庭系ごみ総量÷人口)÷(年間日数))	単位	g	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	組合の事業が適正かつ効率的に運営されることにより玉山区のごみ処理を適正に行う。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 適正に処理された一般廃棄物の割合(適正に処理された一般廃棄物の量÷適正に処理すべき一般廃棄物の量) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%	
				B.	【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C.	【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)			

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	岩手・玉山環境組合	組合	1	1	1	1	1	1	28年度 1
対象 指標B	盛岡市玉山区の人口	人	13,058	13,018	13,000	13,005	12,897	12,897	28年度 12,980
対象 指標C	盛岡市玉山区の事業者	所	447	447	447	447	447	447	28年度 447
活動 指標A	事務局会議等の出席回数	回	3	5	10	8	8	8	28年度 8
活動 指標B	適正に処理された一般廃棄物の総処理量	t	3,600	3,568	3,710	3,526	3,464	3,464	28年度 4,367
活動 指標C	家庭系一般廃棄物の一人一日当たり排出量((玉山区の家庭系ごみ総量÷人口)÷(年間日数))	g	524	529	542	527	525	525	28年度 578
成果 指標A	適正に処理された一般廃棄物の割合(適正に処理された一般廃棄物の量÷適正に処理すべき一般廃棄物の量)	%	100	100	100	100	100	100	28年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	201,622	203,683	203,799	203,799	189,607	189,607	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	201,622	203,683	203,799	203,799	189,607	189,607	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	201,622	203,683	203,799	203,799	189,607	189,607	*****
	延べ業務時間数	時間	50	50	100	100	100	100	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	200	200	400	400	400	400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	201,822	203,883	204,199	204,199	190,007	190,007	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 当組合が適性かつ効率的に運営されることにより、一般廃棄物の適正処理が推進され、生活環境の保全に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 ↳「妥当」とする理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 分別収集品目を拡大し、環境への負荷の軽減を図る必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 玉山区の廃棄物の適正処理ができなくなる。また共同処理を行っている岩手町の廃棄物の適正処理にも影響を及ぼす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡市クリーンセンター及び盛岡・紫波地区環境施設組合に係る事務事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 将来のごみ処理の広域化に向け関係者と協議を行っているが、現時点で各組合は、地域内の処理量に基づき施設が整備されていることから統廃合は出来ない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 組合の事務費等は、協議の中で削減できる余地もあるが、今後、容器包装の分別収集実施や焼却炉施設の解体等の課題があり、全体として削減することは難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現時点において市の担当者は1名であり、業務は会議等への出席や廃棄物の適正処理等に関する協議等であることから、人件費の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 玉山区の住民が排出するごみについては、定期的に収集しており受益機会は公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: ごみ処理経費(処理手数料)の適切な負担のあり方を検討する余地がある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 玉山区におけるその他プラスチック製容器包装や紙製容器包装の分別収集の実施に向け、組合及び岩手町と協議していかなければならない。また、旧焼却施設の解体に向けた協議も必要となる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 組合会議において効率的な運営について要請するとともに、組合や岩手町と共通の認識を持ちながら、ごみの分別収集処理のあり方や旧施設の解体について協議していく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>組合の適正な運営について事務局会議等で協議を行った。今後、玉山区での実施が遅れている容器包装の分別収集の実施や旧焼却施設の解体について構成町と具体的な協議を進めていく必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>一部事務組合の運営事務であることから現状維持とする。ただし、未実施となっている旧焼却場の解体や玉山区内での容器包装の分別収集の実施などについて引き続き要請していくとともに、構成団体として組合の効率的な運営について協議していく必要である。</p>														